

A stylized white globe is centered on a light blue background. The globe is surrounded by various white icons representing environmental and industrial elements: a house, a multi-story building, a truck, a tree, a car, a wind turbine, and a factory chimney. The background has a subtle geometric pattern of blue and white triangles.

# 2024 環境活動レポート

## エコアクション21

2024年4月1日～2025年3月31日



発行日：2025年7月14日

# 目次

1. 環境方針
2. 組織の概要
3. 認証・登録の対象組織・活動
4. 環境目標
5. 主な環境活動計画
6. 環境目標の実績
7. 環境活動計画の取組結果の評価
8. 環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

## 1. 環境経営方針

### <基本理念>

当社は、“あい・は・ゆめ”をキャッチフレーズに、愛と調和を企業理念として、建設の頼もしさや優しさをベースに、人、暮らし、地球とよりよい関係を築いていきたいという願いを込めています。地球温暖化をはじめとするさまざまな環境問題に対して、事業活動に伴う環境への負荷を削減するとともに、環境に優しい建物を提供することで、地球環境の保全に貢献してまいります。

### <行動指針>

- 1 事業活動に伴って排出される二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
- 2 事業活動に伴って排出される廃棄物の削減やリサイクルに取り組めます。
- 3 事業活動に伴って排出される排水量や、水使用量を削減に取り組めます。
- 4 事業活動に伴って使用される資材の化学物質の適正管理に取り組めます。
- 5 建設現場・工場での省資源・省エネルギー化を推進します。
- 6 当社に求められる環境関連法規等を遵守します。
- 7 定期的に環境経営システムを見直し、継続的に改善していきます。
- 8 業務のICT化による合理化の推進を行います。
- 9 省エネを重視した商品開発を行います。
- 10 お客様に建物の省エネルギー化の提案・推進をします。

制定日：2019年10月1日

改訂日：2021年11月1日

愛和建设株式会社  
代表取締役社長 横山隆太

## 2. 組織の概要

### (1) 名称及び代表者名

愛和建设株式会社  
代表取締役社長 横山隆太

### (2) 所在地

本 社	山形県山形市北町三丁目9番15号 TEL:023-664-0068 FAX:023-664-0018
軽量営業部	山形県東村山郡中山町長崎1208-1 TEL:023-662-5555 FAX:023-662-2200
仙台支店	宮城県仙台市太白区富沢南1-18-2 TEL:022-399-8615 FAX:022-399-8617

### (3) 環境管理責任者氏名

責任者 総務経理部係長 調所めぐみ

### (4) 事業内容

建設に関わる工事の一式（設計・施工・メンテナンス全般）  
プレハブ組立ハウスの製造・販売  
建築資材の開発・製造・販売

### (5) 事業の規模

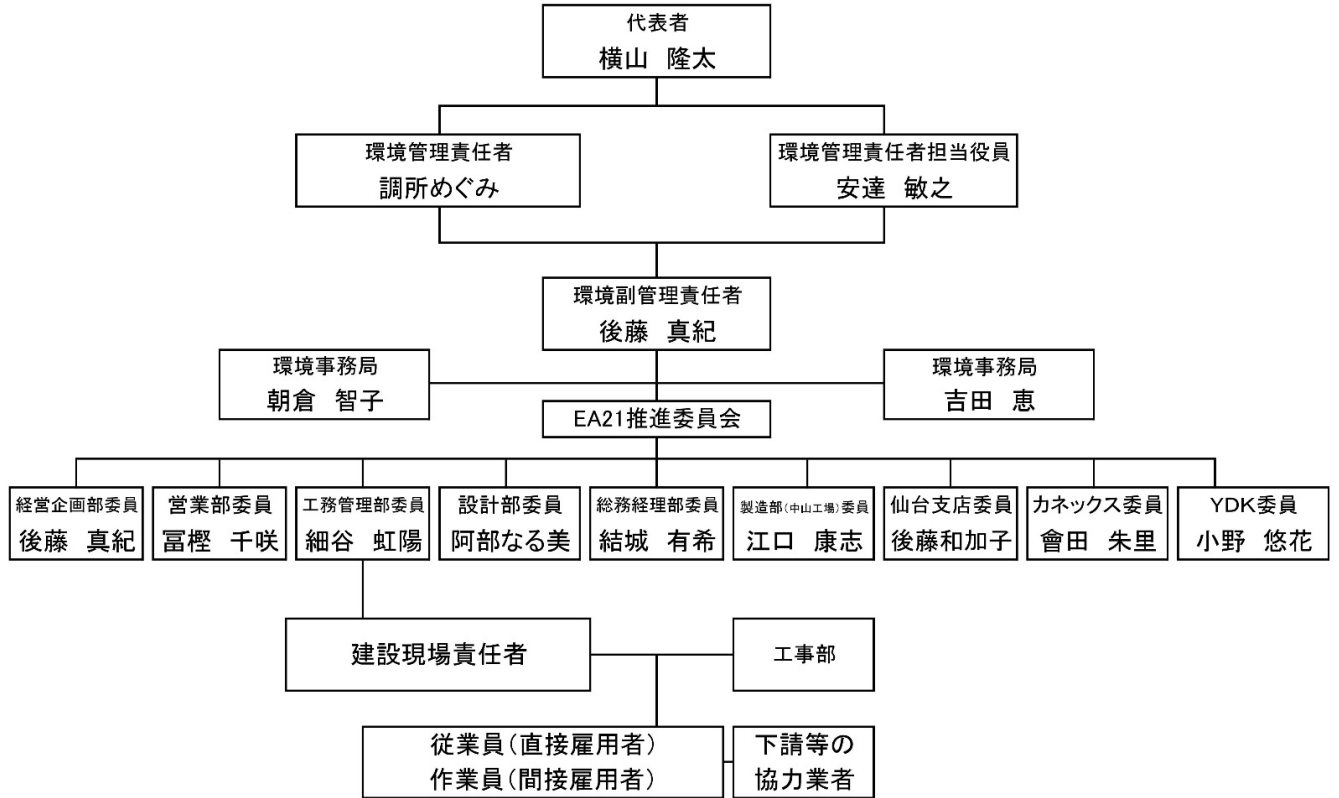
設 立 1944年4月17日  
資本金 8,000万円  
売上高 30.2億円（2024年度）  
従業員 70人（2025年3月末現在）

### (6) 事業年度

4月～翌年3月

## エコアクション21実施体制

- 制定日：2019年10月1日
- 改訂日：2024年4月1日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>・効果的で必要十分な実施体制を構築する</li> <li>・環境方針の策定・見直し</li> <li>・環境目標・環境経営計画を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境目標・環境活動計画書を確認・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境活動レポートの確認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画の原案を作成</li> <li>・環境目標・環境活動計画の実績の集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境経営の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境活動レポートの作成、公開</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐</li> <li>・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・3ヶ月毎の活動計画書の周知とチェック</li> <li>・環境活動報告の取りまとめ</li> </ul>
部門長・推進委員・建設現場責任者・協力業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門、建設現場における環境経営システムの実施</li> <li>・自部門、建設現場における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門、建設現場の従業員、作業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門、建設現場に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>・自部門、建設現場における緊急事態対応手順書の作成、テスト・訓練の実施、記録の作成保管</li> <li>・自部門、建設現場の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員・作業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加</li> </ul>

### 3. 認証・登録の対象組織、活動

#### (1) 認証・登録範囲

全組織、全活動

#### (2) 環境活動レポートの対象取組期間

2024年4月1日～2025年3月31日

### 4. 環境目標

#### (1) 環境目標項目の選定

環境負荷と取組についての自己チェック、環境方針との整合性を図り、次の項目について環境目標を設定します。

- ・ 二酸化炭素排出量
- ・ 廃棄物排出量
- ・ 水使用量
- ・ 化学物質使用量
- ・ 自らが施工・販売する建築物等の環境性能の向上

#### (2) 環境目標（短期・中長期）の設定

各項目の削減目標については、下記のように設定しました。

	単年度目標	中長期目標
	2024年4/1～3/31	2023・2024・2025年度
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	2022年度比1.2%削減	2022年度比1.4%削減
一般廃棄物排出量 (kg)	2022年度比1.2%削減	2022年度比1.4%削減
水使用量 (m3)	2022年度比1.2%削減	2022年度比1.4%削減
化学物質使用量 (kg)	2022年度比1.2%削減	2022年度比1.4%削減
リノベーション工事の推進	3件	3件
建設現場の再資源化率達成	80%	80%
社会貢献活動の推進と情報発信	5件	5件
省エネ性能建築物 提案の促進	20件	20件
カーボンニュートラルを達成した素材、 国産・県産材使用の推進	10件	10件

2022年度実績値（本社・中山）を基に2024年度の具体的目標値を下記のように算出しました。（1.2%削減）

	2022年度実績	取組期間目標値
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	172,888	170,813
電気使用量 (kWh)	113,545	112,182
灯油使用量 (L)	4,962	4,902
L P G使用量 (m3)	22.4	22
ガソリン使用量 (L)	37,781	37,328
軽油使用量 (L)	8,110	8,013
一般廃棄物排出量 (kg)	2,069	2,044
産業廃棄物排出量 (kg)	13,433	13,272
総排水量（水使用量） (m3)	528	522
化学物質使用量 (kg)	400	395
リノベーション工事の推進	—	3件
建設現場の再資源化率達成	—	80%
社会貢献活動の推進と情報発信	—	5件
省エネ性能建築物 提案の促進	—	20件
カーボンニュートラルを達成した素材、 国産・県産材使用の推進	—	10件
二酸化炭素排出量（総量） (kg-CO2)	230,747	227,978

なお、2024年度の各項目は、中長期目標設定時点で事業所規模が小さく実績のない仙台支店と、年度毎に規模の異なる工事現場は含まず、本社・中山工場の総量を比較目標としております。  
 ※二酸化炭素排出量のみ仙台支店と工事現場を含めた総量も記載させていただきます。  
 ※電気の二酸化炭素排出係数は、2024年度の東北電力の実排出係数0.477kg-CO2/kWhを使用しています

## 5. 主な環境活動計画

1.二酸化炭素排出量の削減	
(1) 電気使用量の削減	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■部屋の消灯、OA機器・家電製品の待機電力の削減</li> <li>■中山工場内のこまめな消灯</li> <li>■定期的にエアコンのフィルターを清掃する</li> </ul>
(2) ガソリン・軽油・灯油の削減	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■燃費の管理と削減の促進</li> <li>■エコ運転・定期的な車輛整備をする</li> <li>■建設現場・中山でのジェットヒーター等の適正管理</li> </ul>
2.廃棄物排出量の削減	
(1) 一般廃棄物の削減	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ミスプリントの活用</li> <li>■ヘルメットの適正管理と作業着のリサイクル推進</li> <li>■排出量を前年と比較してグラフ化</li> </ul>
(2) 産業廃棄物の削減	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■分別の徹底</li> <li>■混廃の減少</li> <li>■電子マニフェストの活用（導入・運用）</li> <li>■建設現場の再資源化率達成</li> <li>■産業廃棄物処分場所の見学会の実施</li> </ul>
3.総排水量の削減（水使用量の削減）	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■手洗い時の節水</li> </ul>
4.化学物質使用量の削減	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■化学物質使用量の把握・噴霧量の的確な調整</li> <li>■危険物庫の検討</li> </ul>

5.省エネ建築物推奨・SDGsとの連携	
	■環境活動の取組とSDGsについて検証を行う
	■省エネ法の講習会へ参加する
	■リノベーション工事の推進
6.製作の効率化・予定の管理	
	■他部門と連携した予定管理と、情報の共有・周知
7.協力業者を含めた現場毎の状況に合わせた環境への取り組みを行う	
	■品質施工計画書によるエコアクション21項目のチェック
	■現場毎に現場状況に応じた環境への重点取り組み目標の設定。上記チェック項目と合わせた事務所への掲示
	■美化チェック訪問でのエコアクション21項目の実施状況のチェック
8.教育・訓練の実施	
	■新入社員への環境教育の実施
	■建設現場での協力業者への環境教育の実施
9.環境コミュニケーションの実施	
	■近隣挨拶で回ったリストを作成。要望事項等を記録に残し、現場重点取り組み目標に反映させる
	■社会貢献活動の推進と情報発信
10.環境上の緊急事態への準備及び対応	
	■建設現場の状況に応じた訓練の実施
11.カネックス	
	■省エネ性能建築物提案の促進
12.YDK	
	■国産・県産材の使用の推進
	■ファニチャーリノリウム使用の推進

## 6. 環境目標と実績

### ■ 対象取組期間における環境目標の達成状況は下記の通りでした。

	2024年度目標	2024年度実績	削減量	達成度	未達成の原因
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	170,813	166,438	▲ 4,375	○	
電気使用量 (kWh)	 112,182	109,946	▲ 2,236	○	
灯油使用量 (L)	 4,902	5,597	695	×	ヒーター稼働増加
L P G使用量 (m3)	 22.40	20.11	▲ 2	△	
ガソリン使用量 (L)	 37,328	37,709	381	×	人員増加、 遠方現場増加
軽油使用量 (L)	 8,013	5,702	▲ 2,311	○	
一般廃棄物排出量 (kg)	 2,044	1,338	▲ 706	○	
産業廃棄物排出量 (kg)	 13,272	23,960	10,688	×	當業対応用コンテナ 新規設置、倉庫片付け
総排水量（水使用量） (m3)	 522	664	142	×	人員増加
化学物質使用量 (kg)	 395	564	169	×	製作量の増加
リノベーション工事の推進	 3件	10件		◎	
建設現場の再資源化率達成	 80%	57%		×	建設混合廃棄物・ 廃プラスチックの 再資源化率未達
社会貢献活動の推進と情報発信	 5件	7件		◎	
省エネ性能建築物 提案の促進	 20件	断熱改修提案15件 省エネ改修提案10件		◎	
カーボンニュートラルを達成した素材、 国産・県産材使用の推進	 10件	10件		◎	
二酸化炭素排出量（総量） (kg-CO2)	227,978	221,956	▲ 6,022	◎	

なお、2024年度の各項目は、中長期目標設定時点で事業所規模が小さく実績のない仙台支店と、年度毎に規模の異なる工事現場は含まず、本社・中山工場の総量を比較目標としております。比較目標に対して ◎：非常に良い ○：良い △：前年度並み～やや悪い ×：悪い  
※二酸化炭素排出量のみ仙台支店と工事現場を含めた総量も記載させていただきます。

## 7. 環境活動計画の取り組み結果の評価-実践記録

＜2024年度環境経営計画の実施状況の確認・評価＞					
■制定日：2024年4月1日					
■取組期間：2024年4月～2025年3月		■実績評価： ○良好 △不十分 ×未実施			
環境経営計画 (どのように)	実施時期	該当場所	総合 評価	評価/対策等	
	(いつ)	(どこで)			
1.二酸化炭素排出量の削減					
(1) 電気使用量の削減					
■部屋の消灯、OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年	全社	○		
■中山工場内のこまめな消灯	通年	中山工場	○		
■定期的にエアコンのフィルターを清掃する。	6・8・11月	全社	○		
(2) ガソリン・軽油・灯油の削減					
■燃費の管理と削減の促進	通年	事務所・中山・仙台・現場	○		
■エコ運転・定期的な車輛整備をする	通年	事務所・中山・仙台	○		
■建設現場・中山でのジェットヒーター等の適正管理	冬季間	建設現場・中山	○		
2.廃棄物排出量の削減					
(1) 一般廃棄物の削減					
■ミスプリントの活用	通年	事務所・中山・仙台	○		
■ヘルメットの適正管理と作業着のリサイクル推進	随時	事務所	○		
■排出量を前年と比較してグラフ化	通年	事務所・中山・仙台	○		
(2) 産業廃棄物の削減					
■分別の徹底	通年	廃棄物置場	○	電子マニフェストは、中山工場で運用している。現場の方は、ドリームズファームで4月より運用予定。産業廃棄物処分場の検討は、役員への提案を行ったが、見学先の再検討及び産業廃棄物の手順や工程を理解することが先との指示で保留。	
■混廃の減少	通年	建設現場	○		
■電子マニフェストの活用（導入・運用）	通年	建設現場	○		
■建設現場の再資源化率達成	通年		△		
■産業廃棄物処分場所の見学会の実施	随時		×		
3.総排水量の削減（水使用量の削減）					
■手洗い時の節水（掲示）	通年	事務所	○	実施済	
4.化学物質使用量の削減					
■化学物質使用量の把握・噴霧量の的確な調整	通年	中山	○	使用中の成分と量を業者に提出、検討した結果、危険物庫の設置までは不要。最低量で運用していく。	
■危険物庫の検討	通年	中山	-		

5	省エネ建築物推奨・SDGsとの連携				
	■環境活動の取組とSDGsについて検証を行う	随時	事務所	○	省エネ法講習会は8回、延べ13名参加
	■省エネ法の講習会へ参加する	随時	事務所	○	
	■リノベーション工事の推進	通年	事務所・建設現場	○	
6	製作の効率化・予定の管理				
	■他部門と連携した予定管理と、情報の共有・周知	通年	中山	○	
7	協力業者を含めた現場毎の状況に合わせた環境への取り組みを行う				
	■品質施工計画書によるエコアクション21項目のチェック	通年	建設現場	○	
	■現場毎に現場状況に応じた環境への重点取り組み目標の設定。上記チェック項目と合わせた事務所への掲示	通年	建設現場	○	
	■美化チェック訪問でのエコアクション21項目の実施状況のチェック	10月～	建設現場	○	
8	教育・訓練の実施				
	■新入社員への環境教育の実施	随時	事務所	○	
	■建設現場での協力業者への環境教育の実施	通年	建設現場	○	
9	環境コミュニケーションの実施				
	■近隣挨拶で回ったリストを作成。要望事項等を記録に残し、現場重点取り組み目標に反映させる	随時	建設現場	○	
	■社会貢献活動の推進と情報発信	通年		○	
10	環境上の緊急事態への準備及び対応				
	■建設現場の状況に応じた訓練の実施	年1回	建設現場	○	
11	カネックス				
	■省エネ性能建築物提案の促進	随時	カネックス	○	
12	YDK				
	■国産・県産材の使用の推進	随時	YDK	○	
	■ファニチャーリノリウム使用の推進	随時	YDK	○	

#### ■全体の評価

省エネ法講習会にも定期的に参加しており、今後も継続的に実施していく。昨年度は一時休止していた美化チェックが10月より再開となり、現場の対応状況が把握が明確となった。今後も継続的に美化チェックでの確認を実施していく。また、産業廃棄物の処分場見学については、役員より見学先や教育方法の再検討を行うよう指示があった為、今後若手社員を中心に産業廃棄物への理解を深めるための勉強会等を再度検討していく。産業廃棄物排出量の増加は、営繕対応用に新規設置したコンテナの使用及び中山工場に保管していた過去カルテの処理によるものと考えられる。

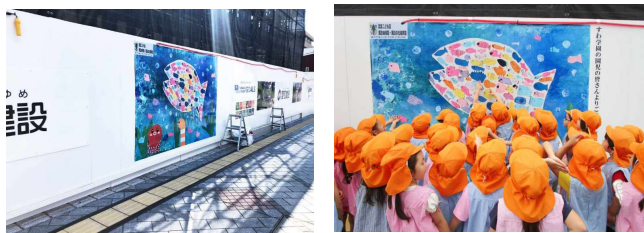
#### ■次年度の取組内容

ガソリン・軽油使用量が減っているため、継続して燃費向上に向けて努めていく。廃棄物の削減やリサイクルの促進により、資源の有効活用に取り組む。今後も引き続き産業廃棄物排出量の削減に努めていく。

## 7. 環境活動計画の取り組み結果の評価-実践記録

### 仮囲い用の絵 寄贈

工事現場の道路向かいにある幼稚園・保育園の園児の皆様より仮囲い用の絵を製作・寄贈頂き設置した。



2024.7.3 2024.7.16 HPニュース掲載

### ボランティア清掃活動

7・9・11月に、県道美化維持の為、ゴミ拾いや草刈り等の清掃活動を実施。



2024.9.10 HPニュース掲載

### 小学校でワークショップ

クラブ活動に講師として参加し、YDKの工場が出た国産・県産材の端材を利用したキーホルダーやフォトフレームを製作。



2024.7.27 山形新聞掲載

### 青空ヨガ

講師の先生をお招きし、希望者でヨガレッスンを実施。呼吸法などご指導いただき、健康への意識を高めた。



## リノベーションプロジェクト立ち上げ

若手中心にリノベーションの専門ブランド「Re'Knot」を立ち上げ、今ある資産を生かし、地域課題の解決に繋がりたい。



2024.10.30 山形新聞掲載  
11月22日号「やまがたコミュニティ新聞」表紙掲載

## 東北芸術工科大学セミナー受講

カーボンニュートラルに関する最新の知見や実例を学び、建築や都市計画における持続可能なアプローチへの理解を深める。



9/5 (木)	定員各30名	
K3-1 K3-2	10:30-13:20 15:00-17:50	
平日講義	竹内昌義	

カーボンニュートラル時代の建築と、まちとくらしのあり方。

## スツール ワークショップ

ファニチャーリノリウムの素材や効果等について学び、自由にデザインしたスツールの作成を実施。

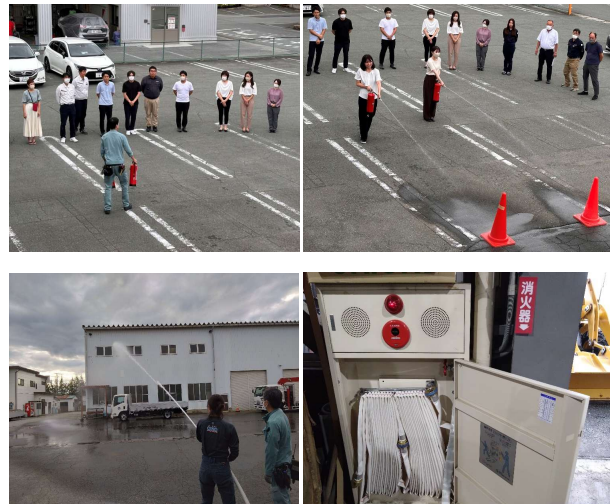


2024.8.23 グランマルシェHP掲載

## 本社・中山工場 消防訓練

消火器の使用手順の確認及び放水訓練、中山工場では消火栓でも放水訓練を実施した。

防災意識を高め、安全作業に努めていきたい。



2024.9.11 2024.9.26 HPブログ掲載

## 整理術向上セミナー

(株)インテリアクニイ 整理収納アドバイザー 代表取締役 國井周氏を講師に迎え、整理力向上についての講演、自分に合った片付け診断を学んだ。整理術を身に付け社内美化・業務効率化に繋げていきたい。



2024.11.1 HPニュース掲載

## 工事現場周辺の清掃

山形市あずま町市営住宅の住民の方と一緒に、改修工事中の現場周辺の駐輪場や付近の公園に降り積もった落ち葉等の清掃活動を実施した。



2024.11.18 HPニュース掲載

## 除雪ボランティア

地域の集会場周辺の除排雪ボランティアを実施。除雪範囲が広く難儀したが、地域の方が小型除雪機で参加した下さり、間口処理はととも捗った。また、周辺住宅の雪かきも依頼があり、当日対応した。当日集会場で会合があり、住民の方に大変喜ばれた。



2025.1.17建設新聞掲載 2025.1.18山形新聞掲載

## 8. 環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟等の有無

法的義務を受ける環境関連法規は次の通りです。  
確認および評価の結果、環境関連法規は遵守されており、違反・訴訟等はありませんでした。

実施日：2024年7月31日

適用される法規	適用内容または規制基準
■環境基本法	自然環境保全のための措置を講じ、廃棄物の処理を適正に行う。事業活動を行う際は、環境への負荷の低減、再生資源を利用するように努める。国又は地方公共団体の施策に協力する。
■循環型社会形成推進基本法	事業活動は、循環資源の利用を行う。循環型社会の形成に努める。国又は地方公共団体の施策に協力する。
■地球温暖化対策推進法	温室効果ガスの排出抑制に努める。国及び地方公共団体の施策に協力する。
■グリーン調達法	物品購入の際は、環境物品等を選択するよう努める。
■環境配慮促進法	情報提供に努め、他の事業者に対し、環境情報を勘案してこれを行うように努める。
■下水道法	事故発生の場合は応急措置を講じ、措置の概要を速やかに公共下水道管理者に届出る。
■山形市火災予防条例	一定量以上の危険物の貯蔵は届出を行う。事故発生時は、直ちに届出・通報を行う。貯蔵所の標識と掲示板を設置する。
■オフロード法	フォークリフトなど特殊自動車を使用する際は、基準適合表示がされた物を使用し、排出ガスの抑制措置を講ずる。
■大気汚染防止法 ■石綿障害予防規則	一定規模以上の建築物について、事前調査・記録の作成保存を行い、結果を県に報告する。石綿等の除去作業を行う際は隔離を行い、作業記録を作成・保存する。
■廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物は適正に保管・処理する。（囲い・掲示板の設置）土地、建物を清潔に保ち、不正処理を発見した場合は通報する。水銀使用製品は他の物と混合を防ぎ、掲示板へ明記する。
●一般廃棄物・産業廃棄物の処理	分別、保管等を行い、市町村に協力する。運搬、処分は許可された業者に委託する。委託契約は、収集運搬業者及び処分業者と別々に行うこと。最終処分が適切に処理されているかを確認する。
●産業廃棄物管理票	運搬・処分を委託する場合には管理票を交付し、交付状況を県知事へ報告する。
■フロン排出抑制法	簡易定期点検を実施し、記録を保管する。廃棄の際は特定の回収業者に依頼し、書面を交付する。
■自動車リサイクル法	廃棄の際は登録業者に依頼し、引取証明書の発行を受ける。リサイクル費用を支払う。
■家電リサイクル法	可能なかぎり長期間使用する。廃棄する際はリサイクル料を支払い、特定の業者へ引き渡す。マニュアルの写しの交付を受ける。
■建築リサイクル法	廃棄物の再資源化を行い、再利用に努める。再資源化の費用を明記した分別解体計画等を作成し、説明する。工事着手前に行政へ届出を行う。分別解体・リサイクルについての掲示を行う。
■建築物省エネ法	省エネ基準を満たし、また所管行政庁からの判定を受ける。建築確認手続きに連動させ、実効性を確保する。一定規模以上の場合は所管行政庁へ届出る。住宅事業建築主に対して、省エネ性能の向上を誘導する。
■工場立地法	工場を新設する際、立地している行政へ届出を行う。

## 9.代表者による全体評価と見直しの結果

### 全体評価

環境経営システムの導入から6年目となり、社内の環境意識も高まり、継続的な成果が見られるようになってきている。これまでの取り組みにより、CO<sub>2</sub>排出量や電気使用量・軽油の使用量に関する目標が達成されるようになってきた。推進委員を中心に会社全体で環境意識が高まってきている中、毎年推進委員のメンバーを入れ替えています。多くの社員に対して環境意識への向上を図ってまいります。

環境経営目標とその実績に関しては、人員増加や遠方建設現場の増加により、燃料使用量や水使用量等が増加しています。社員へのエコドライブの励行など、日常的な省エネ・節水等に対する意識付けを行えるよう努めて参ります。

法令順守状況については大きな問題はなかったが、新しく施行される法令へ対応できるように今後の改定などに注意していきたい。

これまでの活動の結果を踏まえ、問題点の改善を図っており、全体として環境経営システムが概ね有効に機能していると評価します。

### 次年度に向けて

【環境経営方針】は変えず、【環境目標】は中長期目標3年目として、数値的削減目標を2022年度実績から1.4%減とし、引き続きエネルギーの効率化に努め、エネルギー使用量の削減に取り組んで参ります。

#### 【環境経営活動計画】

年々深刻化する異常気象・猛暑に対応するため、熱中症対策の強化が求められており、今年度、活動計画の未達・未実施等の項目も含め、環境配慮・安全対策を万全にし、社員が安心して仕事に邁進できる環境づくりを推進委員と共に検討・実施していきます。

#### 【組織】

環境管理責任者・環境管理副責任者の変更。環境事務局の変更、営業部委員、工務本部委員、経営管理部委員、製造部委員、カネックス委員、YDK委員を変更します。

#### 【システム要素】

この通期の活動で判明した問題点の改善を図り、業務推移に対応した活動を進めて参ります。今後も継続的に教育・訓練を実施し、関連会社・協力業者を含めた会社全体で環境経営に取り組んでいきます。



愛和建设株式会社

本 社 : 〒990-0821 山形市北町3-9-15 TEL:023-664-0068 FAX:023-664-0018

仙台支店 : 〒982-0036 仙台市太白区富沢南1-18-2 TEL:022-399-8615 FAX:022-399-8617

製 造 部 : 〒990-0401 東村山郡中山町長崎1208-1 TEL:023-662-5555 FAX:023-662-2200

関連会社

(株)カネックス : 〒990-0821 山形市北町3-9-15 TEL:023-664-0073 FAX:023-664-0076

(株)Y.D.K : 〒990-0401 東村山郡中山町長崎1208-1 TEL:023-687-1950 FAX:023-687-1940